「医療専攻」便り

新潟県立三条東高等学校　Vol. 2（令和７年 11 月 17 日）

夏休みを中心に、様々な体験をし、講演会も多く、充実した学びの期間になりました。

●2 年生医療系ガイダンス

7 月 31 日（木）13:30～14:35

多くの医療系大学、短大、専門学校に来校いただき、系統別・分野別に各学校での学びについて具体的に説明していただきました。短い時間でしたが、最低2つの学校について話を聞き、学びについて理解を深めました。

【看護（大学）】新潟県立看護大学　　【養護教諭】新潟青陵大学　　【理学療法・作業療法】群馬パース大学
【救急救命・管理栄養】新潟医療福祉大学　　【薬学】新潟薬科大学
【看護（専門学校）】三条看護・医療・歯科衛生専門学校　　【柔道整復】新潟柔整専門学校

●済生会新潟県央基幹病院　見学

8 月 19 日（火）13:30～16:30

県央地区に新しくできた「済生会新潟県央基幹病院」に伺い、最新の医療設備の見学やさまざまな体験を通して、地域での救急医療のあり方など、多くのことを学ばせていただきました。

ヘリポート見学

救急体験（AED体験）

さまざまな職種の方からお話を伺いました

＜生徒の感想＞（抜粋）

・地域に貢献したいと県央基幹病院で働いている人が多いことがわかりました。看護師を辞める人が少なく、働いても勉強できる環境が整っていたり、これからのために人材育成するという病院の考え方がよくわかりました。
・病院内を見学した時、どの職種の方もすごく集中して働いているのが伝わってきました。患者さんが利用する部屋が、用途によって様々な工夫がされ、リハビリなどは笑顔で楽しそうにしているのが印象的でした。
・バランスの良い食事を考えるだけなら AI でもいいけど、患者さんのお話を聞いて寄り添うには管理栄養士が大切だと聞いて感動しました。

●医療専攻学習会

④7 月 31 日（木）14:35～15:30　⑤8 月 21 日(木）9:00～11:00　⑥8 月 28（木）16:00～17:00
⑦9 月 4 日（木）16：00～17：00

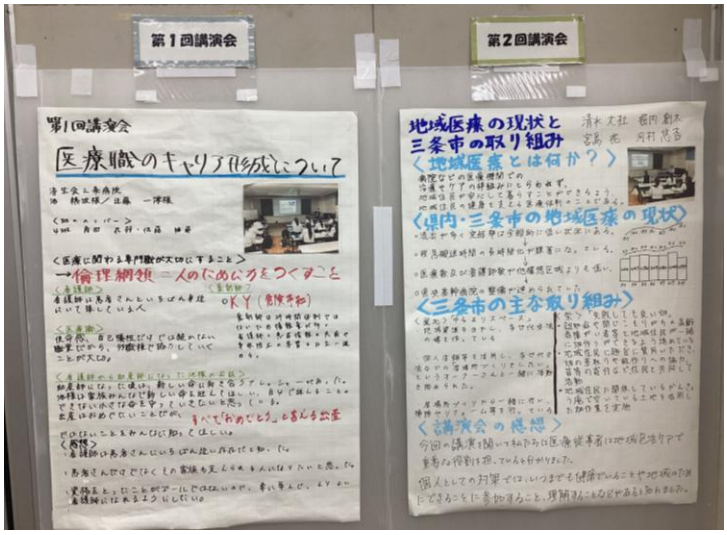
夏休み中の活動のまとめと、東高祭での発表に向け、これまでの学習をポスターにまとめる作業を行いました。東高祭で、より多くの方々にわかりやすく伝えられるように、班員で意見を出し合い、作業を進めました。

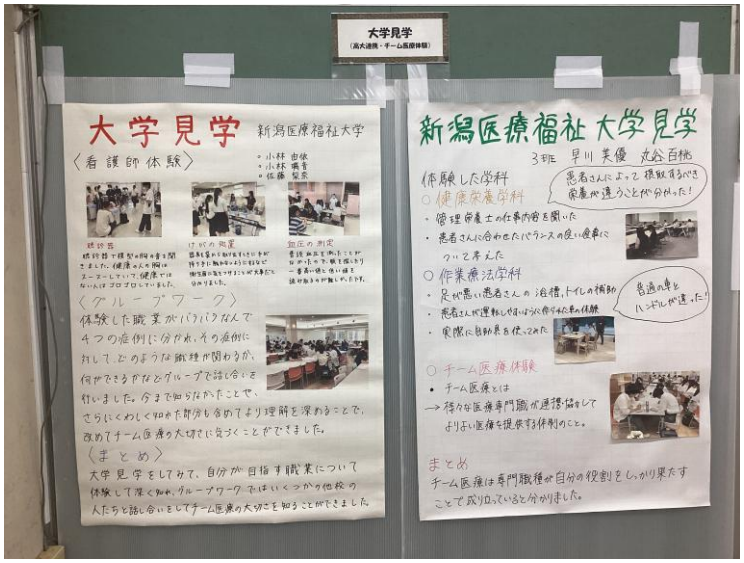
●東高祭　医療専攻発表　9 月 5 日（金）10:00～14:00(一般公開)

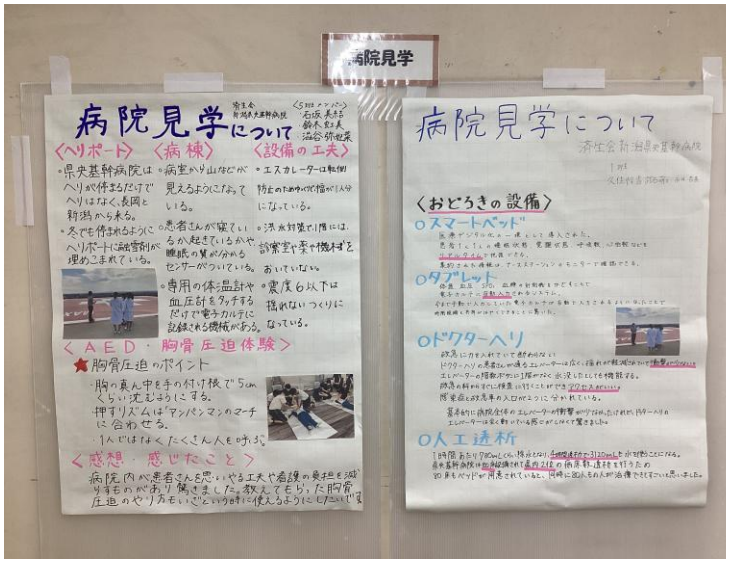
これまでの講演会と、学習会で決めた班ごとの「テーマ」に沿ってポスターにまとめ、掲示・発表しました。

【これまでの講演会・大学見学・病院見学】

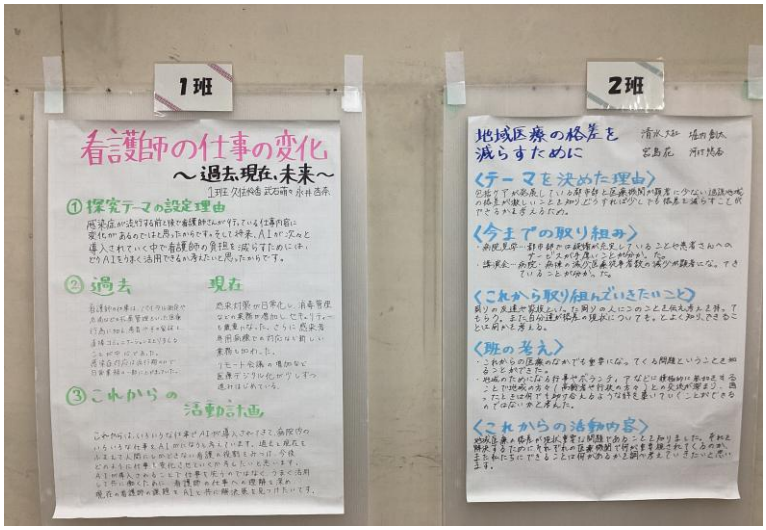
講演会①
「医療職のキャリア形成について」
講演会②
「地域医療の現状と三条市の取り組み」
大学見学
「新潟医療福祉大学見学」
病院見学
「済生会新潟県央基幹病院見学」

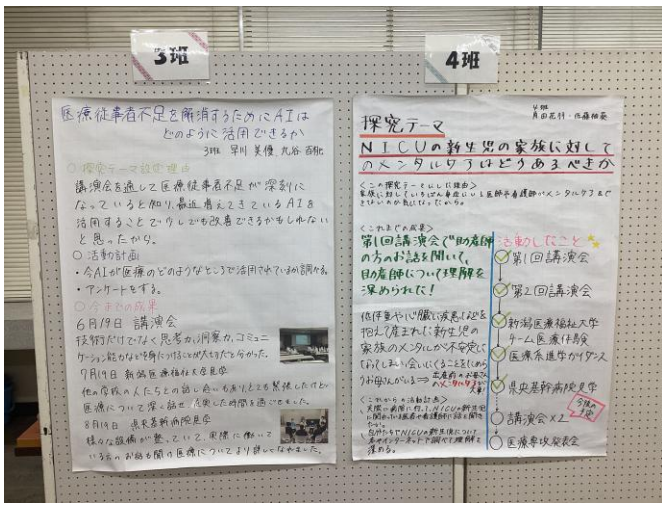


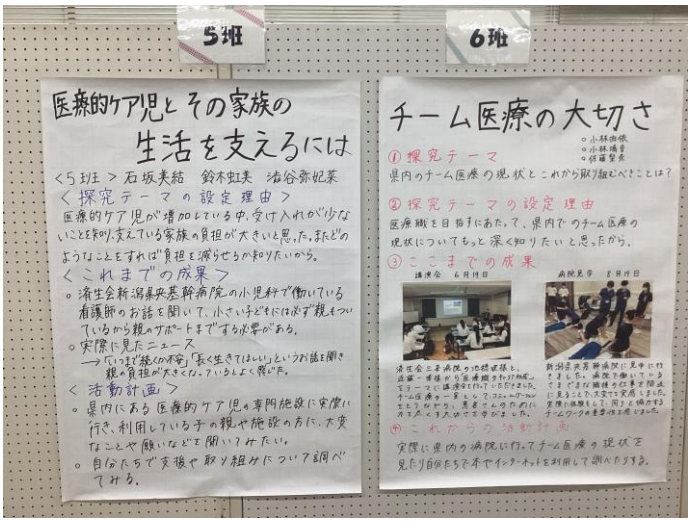




【各班の探究テーマ】
1 班「看護師の仕事の変化
～過去・現在・未来～」
2 班「地域医療の格差を減らすために」
3 班「医療従事者不足を解消するために
ＡＩはどのように活用できるか」
4 班「ＮＩＣＵの新生児の家族に対しての
メンタルケアはどうあるべきか」
5 班「医療的ケア児とその家族の生活を
支えるには」
6 班「チーム医療の大切さ」







●医療専攻講演会③　　9 月 11 日（木）16:00～17:00

演題「看護学の魅力と看護職への道のり」

講師　新潟県立大学　教授　中村 義実 様

新潟県立看護大学より中村義実様より、看護学の魅力と、看護に携わる際の心構えなどを教えていただきました。

講演会資料・大学パンフレット

＜生徒の感想＞（抜粋）

・看護師は、ただ患者さんの看護をするだけでなく、倫理や福祉、哲学など多くの分野を学ぶ必要があると驚きました。どの仕事であっても、「人間的な関心」が大事なんだと思いました。
・看護師は患者さんと一番密に関わるので、信頼関係を築き、表情だけで感情を読み取れるように、など高いレベルのお話が聞けました。そこを目指してよい看護師になりたいと思いました。

・看護には、いろいろな方向から物事を考えられる必要があると改めてわかりました。私は専門学校の方が早く実践的なことを学べるのでいいかな、と思っていましたが、大学でじっくり看護について学んでいくことも大事だと思いました。今後の進路選択に役立てたいです。
・医療職を目指すにあたって、医療系のことだけでなく、あらゆることに関心を向けることが大事だということがよくわかりました。

●医療専攻講演会④　　10 月 16 日（木）16:00～17:00

演題①「新潟難病サポートプロジェクト　難病について知ってほしいこと」

講師　西新潟中央病院　脳神経内科　医師　齋藤 奈つみ 様

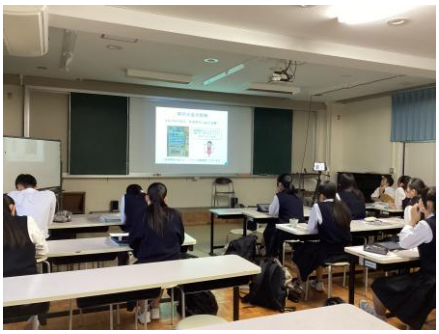
演題②「難病とわかって」

講師　ACTH 単独欠損症の患者さん

今回は ZOOM 形式による講演会を行いました。西新潟中央病院 医師の齋藤奈つみ様より難病についての説明があり、その後実際の患者さんより患者としての思いを伺いました。

齋藤医師から難病について講話

患者の方からのお話


支援のできる自動販売機の説明

＜生徒の感想＞（抜粋）

・「難病」という言葉はよく聞くが、詳しい定義を知らなかったので、今回知ることができてよかったです。実際の患者さんからお話を伺って、病気はいつどんな時になるかわからないものだと実感し、怖くなりました。
・実際に難病になられた方にお話を伺いましたが、ネガティブにならず前向きに、私たちに辛さや現状などを教えてくださいました。また、三条東高校に「難病を支援する」自動販売機があると知り驚きました。
・難病について知っていることが本当に少なかったので、正しい理解をすることが大切だと思いました。もっと難病に対する理解が深まったり広がるには、どんな取り組みができるのか考えていきたい。

●今後の予定

新潟薬科大学の先生、生徒さんにアドバイスをいただきながら探究学習を進めています。

◎学習会⑧～⑪　研究テーマの探究学習…10/23（木）、11/13（木）、12/11（木）、1/15（木）
◎学習会⑫～⑮　発表会準備（１）～（４）…1/29(木)、2/19(木)、26(木)、3/19(木)
◎学習会⑯　発表会直前リハーサル…3/24(火)
◎医療専攻発表会…3/25(水)